

令和5年度

「あやべ観光デジタルフォトコンクール」

総評：綾部の魅力を写真によって再発見する趣旨に沿って233点（69名）の作品が集まりました。他府県や市外からの応募も多かったのは、あやべ市内にはフォトジェニックで魅力的な被写体が多くある結果だともいえます。

美しい郷土が一瞬にして破壊された正月早々の能登半島地震、お見舞いと一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

中田昭（公社・日本写真家協会 会員）

●大賞・綾部市長賞

「ふるさとの山に向かいて言うことなし・・・」

タイトルから想像するに、よほど目の前の光景に感動して撮影されたのだろう。霧の上がるタイミングと力強い青空。そして山の稜線を彩る紅葉の美しさが心地良く目に飛び込んできた。

●特選・綾部商工会議所賞

「和傘イルミネーション」

和傘の重なりや配置、そして仄かな明かりに癒やされた。五月雨のような青い光や画面の前にある行燈が画面を一層引き立てた。

●特選・綾部文化協会賞

「水無月さんで逢いましょう」

打ち上げ花火が上がった瞬間が、空や夕日の色と相まって美しい風景となった。撮影場所を決めるにもそれなりの努力があったと察しられる。

●特選・京都新聞賞

「美しい森」

霧のかかった森の木々を通った美しい朝(?)の光。元気良く駆ける少女の姿を撮ったタイミングも良く、赤い上着も効果的であった。

●特選・あやべ市民新聞社賞

「神秘の森」

ヒメボタルが発光する最盛期だったのだろう。持ち前のテクニックも駆使して、神秘的な風

景が出来上がった。特に手前の大きい光の玉が遠近感を生み出した。

●特選・京都府観光連盟賞

「清流にあそぶ」

お子さんの目線でカメラを構えたこと、高速シャッターで撮影したことなどが、画面に力強さを生んだ。美しい山河で遊んだ幼い頃の経験を思い出させる貴重な家族写真にもなった。

●入選

「春風に舞う」

花々の間に力強く泳ぐ鯉のぼり。青空や花の組み合わせなど、シンプルで大胆な構成が生きた。

「梅林の天使」

春の柔らかい光が梅林を照らし、お子さんを配置してメルヘンチックな演出によって生まれた秀作。

「秋深し」

思い切って全面に紅葉を入れて力強いシーンとなったが、人物の位置と表情に工夫があれば良かった。

「丘の上の古墳に登る月」

フルムーンを撮るための周到な事前計画があったことが感じられ、月のトーンも美しい。

「川霧立つ」

力強い川の流れと朝の空のグラデーションが美しい。太陽の位置を中心から少しずらしても良かったのでは？

「さんぽ。」

ミツバツツジのピンクと服の色を組合わせた演出は効果的。お子さんの楽しい表情を見せて欲しかった。

「あやべ水源の里トレイルラン」

望遠レンズを使い、朝靄のかかる田園風景の中を駆けるランナーの姿を重ねた画面構成。少し説明的になったので、何かポイントが欲しかった。

「希望の虹」

虹の出ている時間は短い、冷静に判断して紅葉にも夕日が当たる瞬間を捉えた。露出も的確！で力づよい画面となった。

「黄金の山々」

雪が止んだ早朝、朝日が遠景の山並みを照らして黄金色に浮かび上がった。ドラマチックな瞬間だったことだろう。

「あやべ良さ来い 市役所チーム」

力強い画面から、かけ声やリズムが迫ってくる。肝心の中央左の人物が目を閉じていたのが残念。